

Index

皮膚がん

レジメン名	レジメンシート
<術後>Nivolumab療法	シート
Avelumab療法	シート
DTIC単独療法	シート
Nivolumab療法	シート
Nivolumab療法<4w>	シート
Pembrolizumab療法	シート

対象： 悪性黒色腫（術後補助化学療法）

レジメン名： <術後>Nivolumab療法

コース目

患者 I D：	#REF!
患者氏名：	#REF!

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)	年齢(歳)	性別
#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

投与スケジュール：	1 コース 14日。
目標コース：	最長 12か月間

《 注 意 》

適正使用ガイドに準じる。

※ **Infusion reaction** に要注意。 投与中はVital signのチェック(Monitor装着を推奨)

重度のInfusion reaction（アフィラクシー様症状、血管浮腫、気管支痙攣、発熱、悪寒、呼吸困難、低血圧等）が発現することがある。2回目以降の投与時に初めて発現することもある。

※ 免疫関連副作用（間質性肺疾患、心筋炎、大腸炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、下垂体炎等）に注意

※ **体重30kg未満の患者にはオプジーボの総液量100mLにすること**

《 使 用 薬 剤 》

ニボルマブ：オプジーボ（240mg/24mL・120mg/mL・100mg/10mL・20mg/2mL）

《 投 与 量 》

薬 剤 名	標準投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
オプジーボ	240 mg/body	240		1

《 タイムスケジュール：開始時刻 》

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1；	1月1日(土)
0時00分	① 生理食塩液 50mL 血管確保用で速度適宜に点滴静注
0時05分	② 生理食塩液 100mL + オプジーボ注 0mg 0.00mL 30 分で点滴静注 <u>0.2 μm or 0.22 μmのフィルター一体型輸液セットを使用する</u> <u>※体重30kg未満の患者には総液量100mLにすること</u>
0時35分	③ 生理食塩液 50mL フラッシュ

REFERENCE

J.Weber, M.Mandala, M.Del Vecchio,et al;N Engl J Med 2017;377:1824-35.

Adjuvant Nivolumab versus Ipilimumab in Resected Stage III or IV Melanoma

2019年9月度化学療法プロトコル審査委員会承認：2019年9月9日

対象： 悪性黒色腫（術後補助化学療法）

レジメン名： **Pembrolizumab療法**

コース目

患者ID：	#REF!
患者氏名：	#REF!

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)	年齢(歳)	性別
#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

投与スケジュール：	1 コース 21日
目標コース：	最長 12か月間

《 注 意 》

適正使用ガイドに準じる。

※ **Infusion reaction**に要注意。 投与中はVital signのチェック(Monitor装着を推奨)

重度のInfusion reaction（アフィクション様症状、血管浮腫、気管支痙攣、発熱、悪寒、呼吸困難、低血圧等）が発現することがある。2回目以降の投与時に初めて発現することもある。

※ 免疫関連副作用（間質性肺疾患、心筋炎、大腸炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、下垂体炎等）に注意

《 使用 薬 剤 》

ペムブロリズマブ：キイトルーダ（100mg/4mL）

《 投 与 量 》

薬 剤 名	標準投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
キイトルーダ	200 mg/body	200		1

《 タイムスケジュール：開始時刻 》

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1；	1月1日(土)
0時00分	① 生理食塩液 50mL 血管確保用で速度適宜に点滴静注
0時05分	② 生理食塩液 100mL + キイトルーダ 0mg 0.00mL 30 分で点滴静注 <u>0.2μm or 0.22μmのフィルター一体型輸液セットを使用する</u>
0時35分	③ 生理食塩液 50mL フラッシュ

REFERENCE

Alexander M.M. Eggermont,M.D.,Ph.D., Crisitian U.Blank,M.D.,Ph.D.,Mario Mandala,M.D.et al.,N Engl J Med 2018;378:1789-801.

Adjuvant Pembrolizumab versus Placebo in Resected Stage III Melanoma.

2019年9月度化学療法プロトコル審査委員会承認：2019年9月9日

対象：根治切除不能なメルケル細胞癌

レジメン名： **Avelumab療法**

コース目

患者ID：	#REF!
患者氏名：	#REF!

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)	年齢(歳)	性別
#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

投与スケジュール： 1 コース 14日間

《 注 意 》

適正使用ガイドに準じる。

※ **Infusion reaction**に要注意。 投与中はVital signのチェック(Monitor装着を推奨)

重度のInfusion reaction (アフィキシー様症状、血管浮腫、気管支痙攣、発熱、悪寒、呼吸困難、低血圧等) が発現することがある。2回目以降の投与時に初めて発現することもある。

※ 免疫関連副作用(間質性肺疾患、心筋炎、大腸炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、下垂体炎等) に注意

※ **保存剤を含まないため、調製後3時間以内に投与を終了すること。**

《 使用 薬 剤 》

アベルマブ：バベンチオ (200mg/10mL)

《 投 与 量 》

薬 剤 名	標準投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
バベンチオ	10 mg/kg	#REF!		1

《 タイムスケジュール：開始時刻 》

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1；	1月1日(土)
0時00分	内服 レスタミンコーワ錠(10mg) 5 錠 ①の点滴直前に内服
0時00分	内服 カロナール (200mg) 3 錠 ①の点滴直前に内服
0時00分	① 生理食塩液 100mL 30 分で点滴静注
0時30分	② 生理食塩液 250mL + バベンチオ 0mg 0.00mL 60 分で点滴静注 <u>0.2μm のフィルター一体型輸液セットを使用する</u>
1時30分	③ 生理食塩液 50mL フラッシュ

REFERENCE

Howard L Kauffman, Jeffery Russell, Omid Hamid, et al; Lancet Oncol 2016 S1470-2045(16)30364-3

Avelumab in patients with chemotherapy-refractory metastatic Merkel cell carcinoma:a multiventre,single-group,open-label,phase 2 trial

2019年6月度化学療法プロトコール審査委員会承認：2019年6月10日

対象： 悪性黒色腫 1st Line

レジメン名： **DTIC単独療法**

コース目

患者 I D：	#REF!
患者氏名：	#REF!

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)	年齢(歳)	性別
#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

投与スケジュール： 1 コース 2 1 - 2 8 日間

《 注 意 》

ダカルバジンは血管痛予防のため全ルート遮光し、血管痛が強ければ投与速度を減速。

《 使 用 薬 剤 》

ダカルバジン (DTIC)： (ダカルバジン) 100mg/V

《 投 与 量 》

薬 剤 名	標準投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
ダカルバジン	1000 mg/m ²	#REF!		1

《 タイムスケジュール：開始時刻 》

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1； 1月1日(土)

0時00分 内服 アプレピタントカプセル 125mg 1 × (1) ダカルバジン開始 1 時間前頃

0時45分 ① 生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1 A + デキサート 9.9mg

15 分で点滴静注

1時00分 ② 5%ブドウ糖液 250mL + **ダカルバジン 0mg**

1 時間で点滴静注

光分解物による血管痛（激痛）予防の為、全ルート遮光し、調製後速やかに投与。

2時00分 ③ 生理食塩液 50mL

フラッシュ

Day2～3； 1月2日(日) ～ 1月3日(月)

起床後 内服 アプレピタントカプセル 80mg 1 × (2) 起床後

内服 デキサート(4mg) 2錠 2 × (2) 朝・昼食後

REFERENCE

By Paul B. Chapman, Lawrence H. Einhorn, Michael L. Meyers, et al. :J Clin Oncol 17:2745-2751

Phase III Multicenter Randomized Trial of the Dartmouth regimen Versus Dacarbazine in Patients with Metastatic Melanoma

化学療法プロトコル審査委員会承認：2015年6月8日

対象： 悪性黒色腫

レジメン名： **Nivolumab療法**

	コース目
--	------

患者ID：	#REF!
患者氏名：	#REF!

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)	年齢(歳)	性別
#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

投与スケジュール：	1 コース 14日。
-----------	------------

《 注 意 》

適正使用ガイドに準じる。

※ **Infusion reaction**に要注意。 投与中はVital signのチェック(Monitor装着を推奨)

重度のInfusion reaction（アフィラクシー様症状、血管浮腫、気管支痙攣、発熱、悪寒、呼吸困難、低血圧等）が発現することがある。2回目以降の投与時に初めて発現することもある。

※ 免疫関連副作用（間質性肺疾患、心筋炎、大腸炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、下垂体炎等）に注意

※ 体重30kg未満の患者にはオプジーボの総液量100mLにすること

《 使用 薬 剤 》

ニボルマブ：オプジーボ（240mg/24mL・120mg/mL・100mg/10mL・20mg/2mL）

《 投 与 量 》

薬 剤 名	標準投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
オプジーボ	240 mg/body	240		1

《 タイムスケジュール：開始時刻 》

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1；	1月1日(土)
0時00分	① 生理食塩液 50mL 血管確保用で速度適宜に点滴静注
0時05分	② 生理食塩液 100mL + オプジーボ注 0mg 0.00mL 30 分で点滴静注 <u>0.2μm or 0.22μmのフィルター一体型輸液セットを使用する</u> <u>※体重30kg未満の患者には総液量100mLにすること</u>
0時35分	③ 生理食塩液 50mL フラッシュ

REFERENCE

Caroline Robert, M.D.,Ph.D., Georgina V. Long, M.D.,Ph.D., Benjamin Brady, M.D.,Ph.D.,et al; N Engl J Med 2015;372:320-30

Nivolumab in Previously Untreated Melanoma without BRAF Mutation

Naoya Yamazaki, Yoshio Kiyohara, Hisashi Uhara,et al; Cancer Sci 108(2017) 1223-1230

Efficacy and safety of nivolumab in Japanese patients with previously untreated advanced melanoma: A phase II study

2018年2月度化学療法プロトコル審査委員会承認：2018年2月6日 更新:2018年9月10日

対象： 悪性黒色腫

レジメン名： **Nivolumab療法<4w>**

コース目

患者 I D：	#REF!
患者氏名：	#REF!

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)	年齢(歳)	性別
#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

投与スケジュール： 1 コース 28日。

《 注 意 》

適正使用ガイドに準じる。

※ 通常、2～3ヵ月は2週間の投与間隔のレジメンにて治療開始し、その間、継続に問題となるような重大な副作用の発現がないこと、PDでないことを確認した後に、4週間の投与間隔のレジメンに切り替えることが望ましい

※ **Infusion reaction** に要注意。 投与中はVital signのチェック(Monitor装着を推奨)

重度のInfusion reaction（アフィキシ様症状、血管浮腫、気管支痙攣、発熱、悪寒、呼吸困難、低血圧等）が発現することがある。2回目以降の投与時に初めて発現することもある。

※ 免疫関連副作用（間質性肺疾患、心筋炎、大腸炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、下垂体炎等）に注意

※ **体重30kg未満の患者にはオブジーボの総液量100mLにすること**

《 使 用 薬 剤 》

ニボルマブ：オブジーボ（240mg/24mL・120mg/mL・100mg/10mL・20mg/2mL）

《 投 与 量 》

薬 剤 名	標準投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
オブジーボ	480 mg/body	480	480	1

《 タイムスケジュール：開始時刻 》

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1；	1月1日(土)
0時00分	① 生理食塩液 50mL 血管確保用で速度適宜に点滴静注
0時05分	② 生理食塩液 100mL + オブジーボ注 480mg 48.00mL 30 分で点滴静注 <u>0.2μm or 0.22μmのフィルター体型輸液セットを使用する</u> <u>※体重30kg未満の患者には総液量100mLにすること</u>
0時35分	③ 生理食塩液 50mL フラッシュ

REFERENCE

Caroline Robert, M.D.,Ph.D., Georgina V. Long, M.D.,Ph.D., Benjamin Brady, M.D.,Ph.D.,et al; N Engl J Med 2015;372:320-30

Nivolumab in Previously Untreated Melanoma without BRAF Mutation

Naoya Yamazaki, Yoshio Kiyohara, Hisashi Uhara,et al; Cancer Sci 108(2017) 1223-1230

Efficacy and safety of nivolumab in Japanese patients with previously untreated advanced melanoma: A phase II study

2018年2月度化学療法プロトコル審査委員会承認：2018年2月6日 更新:2018年9月10日